

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年03月10日

計画の名称	鉄道駅周辺の安心・安全な歩行空間の整備（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	広島市													
計画の目標	西広島駅周辺地区において、自由通路整備及び駅前広場整備を行うことにより、JR山陽本線によって分断されている南北の地区の分断解消及び円滑な交通処理を図る。 また、バリアフリー対策により自由通路、公共交通機関相互の乗り継ぎのための経路などを安全かつ快適な歩行空間とするとともに、踏切利用から自由通路利用への転換を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		997	A	992	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0.5	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26		H34及びH36
1	自由通路の1日当たりの利用者数を21,000人/日とする。			
	自由通路の利用者 【最終目標値＝既存調査から推計】	0人/日	人/日	21000人/日
2	自由通路利用により駅最寄の踏切（已斐本町踏切、已斐中踏切）の歩行者交通量を3,179人/日から2,300人/日に減少させる。			
	踏切の歩行者交通量を調査 【最終目標値＝既存調査から推計】	3179人/日	人/日	2300人/日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
※令和2年度から社会資本整備総合交付金（ストック効果を高めるアクセス道路の整備）に移行するため。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	西広島駅南北自由通路	自由通路 L＝0.1km	広島市	■	■	■			987		－
	A01-002	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	改築	西広島駅南口駅前広場	駅前広場再整備 A＝1,590㎡	広島市			■			5		－
											小計						992		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	街路	一般	広島市	直接	広島市	S街路	施設整備	西広島駅南口駅前広場	駅前広場再整備A=1,590㎡	広島市			■			5	—	
		J R西広島駅南口駅前広場(13-A-2)と一体的に整備することで、歩行空間のバリアフリー対策を行う。																	
												小計						5	
											合計						5		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
道路交通局都市交通部	R4.3
	公表の方法
	広島市HP

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	○基幹事業 ・ JR西広島駅周辺地区の自由通路等の実施設計及び整備工事を行う等、事業を推進した。 ○効果促進事業 ・ JR西広島駅南口駅前広場の実施設計を行う等、事業を推進した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

本要素事業及び効果促進事業については、社会資本総合交付金（整備計画名：西広島駅へのアクセス向上と安全な歩行空間の整備）に移行して引き続き整備すること
で、JR山陽本線によって分断されている南北の地区の分断解消及び円滑な交通処理等を図り、駅最寄りの踏切利用から自由通路利用への転換を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	自由通路の利用者数		
	最 終 目標値	21000人/日	※事業継続中（社会資本整備総合交付金（整備計画名：西広島駅へのアクセス向上と安全な歩行空間の整備）に移行）
	最 終 実績値	0人/日	
2	駅最寄の踏切歩行者交通量		
	最 終 目標値	2300人/日	※事業継続中（社会資本整備総合交付金（整備計画名：西広島駅へのアクセス向上と安全な歩行空間の整備）に移行）
	最 終 実績値	0人/日	